

「峰山小学校の太郎太郎踊り伝承活動の取組」

1. 学校名	薩摩川内市立峰山小学校
2. 学年・人数	5・6年 10人（5年生3人 6年生7人）
3. 日時・場所	(1) 練習の日時・場所 令和7年2月27日 峰山小学校体育館 (2) 発表の場所・日時 令和7年3月2日 南方神社春の大祭（太郎太郎踊り）
4. 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事、伝統工芸品について	(1) 名称 県指定民族無形文化財 高江太郎太郎踊り（たかえたろうたろうおどり） (2) 由来等 およそ500年前に、五穀豊穡を願って始まったとされる田起こしと出産の様子を表した農耕劇である。オンジョ（祖父）・テチャ（父）・太郎・孫・ヨメジョ・牛が登場し、仕事を休みたがる太郎とそれを諷めるテチャが、ユーモラスな掛け合いを行う。児童は、孫役として参加している。くわの形をした木を持ち、『太郎太郎、はよ牛をひてけ。』といいながら田を耕す。劇の時間は40分ほどである。
5. 文化財伝承・活用の取組において地域との連携や工夫した点等	かつては育成会ごとに孫役の依頼や練習を行っていたが、児童数の減少とともに学校へ依頼されるようになった。練習は、ふるさと・コミュニケーション科の時間を1時間使って行っている。5・6年生が孫役として参加しているが、今後は4年生以上の参加とすることを決めている。 峰山地区に伝わる、県の民俗無形文化財に指定される程の貴重な文化である「太郎太郎踊り」に孫役として参加することで、ふるさとを愛する子供たちとなっていくと考え、ふるさと・コミュニケーション科の内容として取り入れた。保存会の方々が学校に来て指導をしてくださるので、短時間で効果的に練習することができる。今後も文化の伝承のために、学校で協力できることはしっかりと協力していきたい。
6. 取組の様子（練習状況、発表の場等）	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">南方神社 春の大祭当日の様子</p>
7. 感想・意見（参加児童生徒・保護者・保存会・教員等）	<p>【児童】 最初は難しかったけど、保存会の方が優しく丁寧に教えてくれたのでよかった。自信をもって、大きな声で演じることができた。</p> <p>【教職員】 ふるさとの伝統芸能に参加することで、子供たちが、地域の方々のふるさとの伝統を大切に思う気持ちに気付くことができ、ふるさとを大切にしようという気持ちが育った。</p> <p>【保存会から】 「太郎太郎踊り」はずっと受け継いでいきたいと思っているので、今後も小学生の参加をお願いしたい。また、参加することで、地域の人々の地域に対する思いも受け継いでいってほしい。</p> <p>【地域の方から】 伝統のある地域行事に参加することで、地域や地域に伝わる伝統や文化を大事にする子供が育つと思うので、このような取組は続けてほしい。</p>